

ご挨拶

第36回鎮痛薬・オピオイドペプチドシンポジウム

世話人代表 南 雅文

北海道大学 大学院薬学研究院 薬理学研究室

鎮痛薬・オピオイドペプチド研究会（Japan Narcotics Research Conference：JNRC）は、国際麻薬研究会議（International Narcotics Research Conference：INRC）の日本開催の受け皿として1980年に発足し、以来、シンポジウムを年1度開催し、日本の鎮痛薬・オピオイド研究をリードして参りました。私が最初に本シンポジウムに参加したのは、今から27年前の大学院生の時に、佐藤公道先生が京都にて開催された第9回のシンポジウムであったと記憶しております。この度、この伝統ある鎮痛薬・オピオイドペプチドシンポジウムのお世話をさせていただきますこと大変光栄に存じます。

本年のシンポジウムは、8月19日（金）、20日（土）に北海道大学薬学部の講義室を利用して開催させていただく運びとなりました。本会は、痛みの機序や鎮痛薬・オピオイドの創薬・作用機序について発表し議論を行う場ではありますが、今回は、痛みと同じく患者のQOLを大きく損なう「かゆみ」や「しびれ」などの感覚や、オピオイド神経系との相互作用も報告されている新しい神経ペプチド「オレキシン」の話題なども加え、幅広く情報交換を行える場としたいと考えております。19日には基礎研究を中心としたシンポジウムと特別講演、20日には臨床に関連したシンポジウムと特別講演を配置し、鎮痛薬・オピオイドを軸に基礎と臨床の最前線を語り合う会にしていきたいと思っております。また、一般演題では、ショートトークとポスター発表の両方の利点を生かしてご発表いただくことといたしました。

8月19日（金）、20日（土）の2日間は、札幌の涼しい気候と美味しい食事を楽しみつつ、鎮痛薬、オピオイド、痛みの機序などについて、活発な情報交換と熱い議論を行うとともに、会員同士の親睦を深めていただき、本会が先生方のご研究のさらなる発展にお役に立つことを祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。

平成28年8月

鎮痛薬・オピオイドペプチド研究会 世話人

名誉世話人

佐藤公道	京都大学名誉教授
土肥修司	市立室蘭総合病院
中村秀雄	メディス医療情報研究所
並木昭義	小樽市病院局
野崎正勝	元(財)生産開発科学研究所
吉川正明	(財)生産開発科学研究所

世話人

有田英子	JR 東京総合病院 麻酔科 痛みセンター
池田和隆	(公財)東京都医学総合研究所 依存性薬物プロジェクト
井関雅子	順天堂大学 医学部 麻酔科学・ペインクリニック
上園保仁	国立がんセンター研究所 がん患者病態生理研究分野
植田弘師	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 創薬薬理学分野
岡 哲雄	東海大学 医学部 生体構造機能系 薬理学教室
小川節郎	日本大学 総合科学研究所
小野秀樹	武蔵野大学 薬学部 臨床薬剤学研究室
金子周司	京都大学 大学院薬学研究科 生体機能解析学分野
亀井淳三	星薬科大学 薬物治療学教室
川股知之	和歌山県立医科大学 麻酔科学教室
岸岡史郎(監事)	和歌山県立医科大学 薬理学教室
倉石 泰	東京医科歯科大学 リサーチ・アドミニストレーター室
齋藤顕宜	国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 精神薬理研究部
櫻田 忍	東北薬科大学 機能形態学教室
櫻田 司	第一薬科大学 薬品作用学教室
下山直人	東京慈恵会医科大学 麻酔学講座 緩和ケア室
鈴木 勉	星薬科大学 薬物依存研究室
曾良一郎	神戸大学 大学院医学研究科 精神医学分野
田辺光男	北里大学 薬学部 薬理学教室
徳山尚吾	神戸学院大学 薬学部 臨床薬学研究室
中川貴之	京都大学 大学院薬学研究科 生体機能解析学分野
長瀬 博	筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構
成田 年	星薬科大学 薬理学教室
花岡一雄	JR 東京総合病院
藤井秀明	北里大学 薬学部 生命薬化学研究室
南 雅文	北海道大学 大学院薬学研究院 薬理学研究室
山口重樹	獨協医科大学 麻酔科学講座

(五十音順 敬称略)

研究会事務局 (事務局長 亀井淳三)

京都リサーチパーク (株) コンベンションチーム内
〒600-8813 京都府京都市下京区中堂寺南町 134
TEL:075-315-8697 FAX:075-314-2968
E-mail: jnrc@krp.co.jp
Homepage: <http://www.jnrc.net/>

鎮痛薬・オピオイドペプチドシンポジウムの歩み

回	開催年日	開催地	世話人代表
第1回	1980.7.28	京都	高木博司（京都大・薬・薬理）
第2回	1981.7.26-30	京都	高木博司（京都大・薬・薬理）
第3回	1982.9.9-10	岐阜	藤村一（岐阜大・医・薬理）
第4回	1983.8.25-26	大阪	金戸洋（長崎大・薬・薬物）
第5回	1984.8.23-24	大阪	猪木令三（大阪大・歯・薬理）
第6回	1985.8.22-23	東京	岡哲雄（東海大・医・薬理）
第7回	1986.8.25-26	宮崎	松尾寿之（宮崎医大・第二生化）
第8回	1987.9.21-22	岐阜	堀幹夫（岐阜薬大・薬化）
第9回	1988.8.22-23	京都	佐藤公道（京都大・薬・薬理）
第10回	1989.9.18-19	つくば	藤野政彦（武田薬品・筑波研）
第11回	1990.8.30-31	下呂	鶴見介登（岐阜大・医・薬理）
第12回	1991.8.29-30	長崎	金戸洋（長崎大・薬・薬物）
第13回	1992.8.27-28	大阪	中村秀雄（大日本製薬・開発研）
第14回	1993.8.5-6	幕張	高柳一成（東邦大・薬・薬理）
第15回	1994.9.1-2	福岡	小栗一太（九州大・薬・衛生）
第16回	1995.8.10-11	和歌山	山本博之（和歌山医大・薬理）
第17回	1996.8.7-8	東京	鈴木勉（星薬大・薬品毒性）
第18回	1997.8.28-29	京都	野崎正勝（生産開発科研・薬理）
第19回	1998.8.21-22	三島	長瀬博（東レ・基礎研）
第20回	1999.9.2-3	仙台	桜田忍（東北薬大・機能形態）
第21回	2000.8.24-25	長崎	植田弘師（長崎大・薬・分子薬理）
第22回	2001.8.24-25	京都	吉川正明（京都大・農・食品生物科学）
第23回	2002.8.23-24	東京	花岡一雄（東京大・医・麻酔）
第24回	2003.9.5-6	東京	亀井淳三（星薬大・薬物治療）
第25回	2004.7.18-23	京都	佐藤公道（京都大・薬・薬理）
第26回	2005.6.17-18	岐阜	土肥修司（岐阜大・医・麻酔・疼痛制御学）
第27回	2006.9.1-2	和歌山	岸岡史郎（和歌山医大・医・薬理）
第28回	2007.8.31-9.1	札幌	並木昭義（札幌医大・医・麻酔）
第29回	2008.8.29-30	富山	倉石泰（富山大・医薬・応用薬理）
第30回	2009.8.28-29	東京	小川節郎（日大・医・麻酔）
第31回	2010.8.26-27	名古屋	小野秀樹（名古屋市大・薬・薬理）
第32回	2012.9.15-16	東京	有田英子（JR 東京総合病院／日大・医・麻酔）
第33回	2013.9.6-7	兵庫	曾良一郎（神戸大・医・精神医学）
第34回	2014.9.5-6	東京	池田和隆（都医学研・依存性薬物）
第35回	2015.10.16-17	白浜	川股知之（和歌山医大・医・麻酔）
第36回	2016.8.19-20	札幌	南雅文（北海道大・薬・薬理）

第 36 回鎮痛薬・オピオイドペプチドシンポジウム開催概要

1. 受付 8 月 19 日（金） 12:00 ～
8 月 20 日（土） 8:30 ～
北海道大学薬学部正面玄関
※事前登録された方は、当日受付にて事前参加登録確認メールのコピーをご提示ください。
2. 参加費 一般 5,000 円（事前登録）、6,000 円（当日登録）
学生 無料（事前登録）、 無料（当日登録）
※会場内では必ずネームカードをお着けください。
3. 懇親会 8 月 19 日（金） 19:00 ～
会場：サッポロビール園
〒060-0907 北海道札幌市東区北 7 条東 9 丁目 2
懇親会費：一般 7,000 円、学生 5,000 円
4. 世話人会 日時：8 月 19 日（金） 12:30 ～ 13:30
会場：北海道大学薬学部 第二講義室

5. 発表形式

開催講演	発表形式・発表時間
特別講演	口頭発表（質疑応答を含め 60 分）
シンポジウム	口頭発表（質疑応答を含め 30 分）
一般演題	ショートトーク（発表 6 分、質疑応答 2 分）とポスターの両方で発表

6. 口頭発表

口頭発表は PowerPoint による PC 発表に限ります。

特別講演、シンポジウム、ランチョンセミナーの演者の先生におかれましては、ご講演の 30 分前までに以下の備え付け PC にて受付・試写を頂くか、ご自身の PC でのご発表をお願いします。ご自身の PC をご利用の場合は、Mini-D sub15 ピンの形状にあった PC あるいはコネクタをご用意ください。

一般演題の演者の先生方は発表当日の 13 時 15 分までに受付にデータの持ち込み・試写を済まされ、下記 PC でご発表していただきますようお願い申し上げます。

備え付け PC 環境は以下の通りです。

対応 OS	Windows 8、Mac OSX (El Capitan)
アプリケーション	Windows 版 PowerPoint2013、Mac 版 PowerPoint for Mac 2011
受付メディア	USB フラッシュメモリ、CD-R

ファイル名	ファイル名には「セッション名：演者名」を付けてください。 例) 一般演題：北大太郎
動画・音声	動画・音声は持ち込み PC（特別講演、シンポジウム、ランチョンセミナー）のみ対応可

※スクリーンセーバーならびに省電力設定はあらかじめ解除してください。

※バッテリーでのご発表はトラブルの原因となりますので必ず電源ケーブルをご持参ください。

※座長の先生は、ご担当セッション開始 30 分前までに受付をお済ませください。

7. ポスター発表

一般演題のポスターは、掲示ボード（縦×横：160 cm × 90 cm）に掲示できる大きさで作成ください。ポスターは 8 月 20 日（土）の一般演題（口演）終了後の休憩時間に、プログラムに記載のポスター番号に従って掲示をお願いいたします。一般演題に関する詳細な質疑応答はポスターセッションの際に行います。

8. 大会本部・クロークについて

北海道大学薬学部臨床講義棟の「セミナー室」にクロークを開設しています。

9. 休憩室について

北海道大学薬学部臨床講義棟の「第二講義室」を休憩室としてご利用いただけます。

10. 写真・ビデオ撮影について

演者および事務局の許可を得ずにスクリーンやポスターの撮影を行うことはご遠慮ください。尚、事務局スタッフが会場内を撮影する場合がございますが、あらかじめご了承ください。

11. 駐車場について

会場には一般参加者の駐車スペースはございませんので、公共交通機関をご利用ください。

12. お問い合わせ先

第 36 回鎮痛薬・オピオイドペプチドシンポジウム事務局

北海道大学 大学院薬学研究院 薬理学研究室

事務局長 天野大樹

TEL/FAX: 011-706-3248/4987

E-mail: jnrc2016@pharm.hokudai.ac.jp

学会ホームページ: <http://www.pharm.hokudai.ac.jp/yakuri/jnrc2016/index.html>

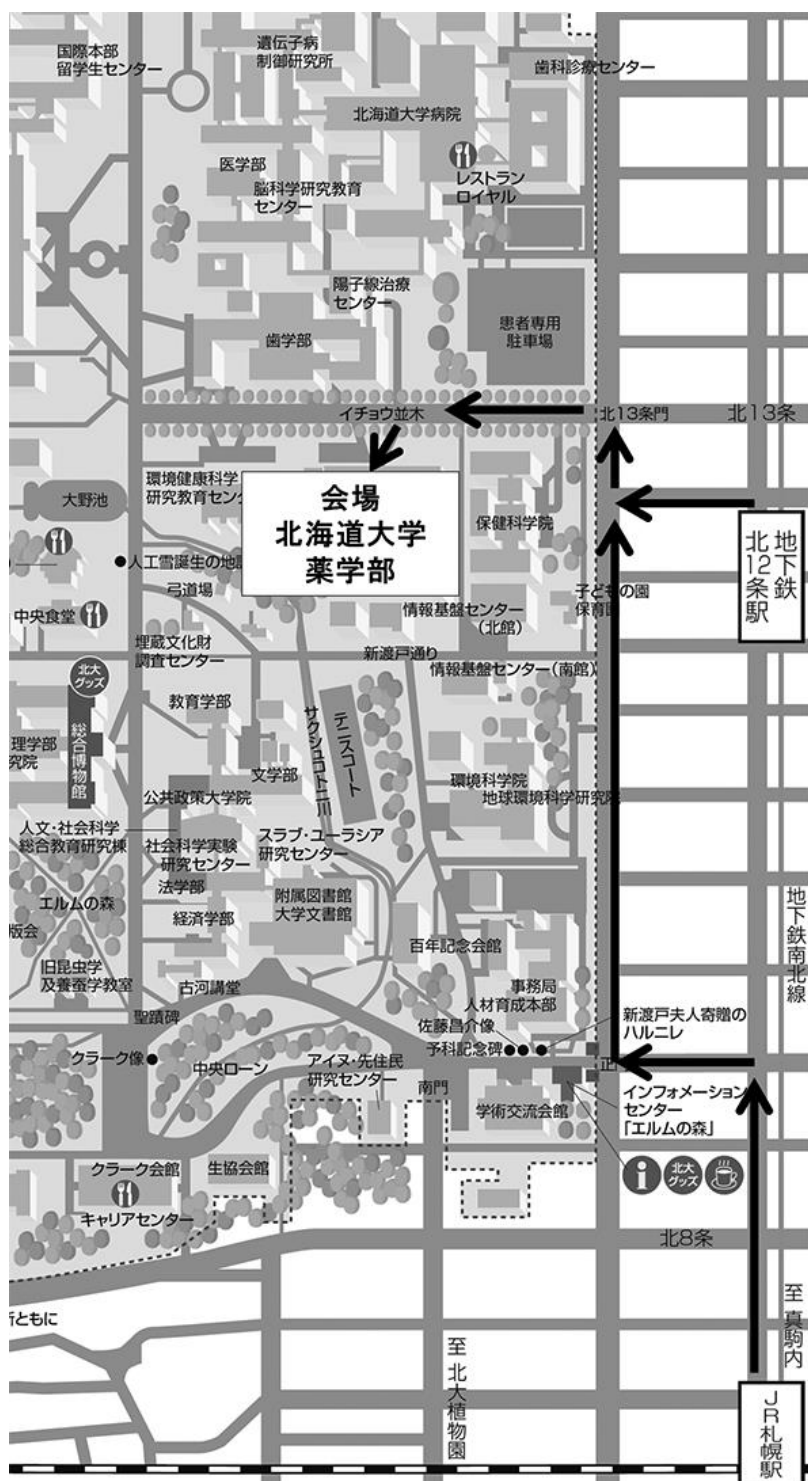
会場へのアクセス

【 アクセス図 】

北海道大学薬学部

〒060-0812 北海道札幌市北区北 12 条西 6 丁目

JR「札幌駅」より徒歩 15 分 札幌市営地下鉄「北 12 条駅」より徒歩 5 分



日 程 表

第36回 鎮痛薬・オピオイドペプチドシンポジウム(JNRC2016)

8月19日(金)		8月20日(土)	
12:00	受付開始	9:00	シンポジウム3 「オピオイド処方 ¹ の現状と展望」 井関雅子 山口重樹 住谷昌彦 座長:井関雅子・池田和隆
12:30	世話人会	10:30	休憩
13:30	開会挨拶	10:45	特別講演2 川股知之 (和歌山県立医科大学) 座長:並木昭義
13:45	シンポジウム1 「痛み・痒み・ストレスとグリア」 津田誠 中川貴之 古屋敷智之 座長:倉石泰・津田誠	11:45	休憩
15:15	休憩	12:00	ランチョンセミナー 小川節郎 (日本大学病院) 座長:花岡一雄
15:30	シンポジウム2 「オレキシン研究の最前線」 山中章弘 成田年 長瀬博 座長:大村優・中川貴之	13:00	休憩
17:00	休憩	13:15	世話人会報告・INRC報告
17:15	特別講演1 加藤総夫 (東京慈恵会医科大学) 座長:南 雅文	13:45	一般演題(口演) 座長:上園保仁・川股知之
18:15	タクシーで移動	15:45	休憩・ポスター掲示
19:00	懇親会	16:00	一般演題(ポスター)
20:30	サッポロビール園	18:00	閉会の辞・ポスター撤去
		21:00	世話人情報交換会 JNRC次世代を担う若手の会

プログラム

8月19日(金)

開会の辞

13:30 ~ 13:40

世話人代表：南 雅文（北海道大学 大学院薬学研究院 薬理学研究室）

シンポジウム1「痛み・痒み・ストレスとグリア」

13:45 ~ 15:15

座長：倉石 泰（東京医科歯科大学 リサーチ・アドミニストレーター室）

津田 誠（九州大学 大学院薬学研究院 ライフイノベーション分野）

痛みと痒みの慢性化とグリア細胞

津田誠（九州大学 大学院薬学研究院 ライフイノベーション分野）

シュワン細胞を標的としたがん化学療法誘発末梢神経障害の発生機構の解析
と新たな治療戦略の開発

中川貴之、今井哲司（京都大学 医学部附属病院 薬剤部）

ストレスと脳内炎症様変化

古屋敷智之（神戸大学 大学院医学研究科 薬理学分野）

休憩

15:15 ~ 15:30

シンポジウム2「オレキシン研究の最前線」

15:30 ~ 17:00

座長：大村 優（北海道大学 大学院医学研究科 神経薬理学分野）

中川貴之（京都大学 医学部附属病院 薬剤部）

オレキシン神経による鎮痛作用

犬東歩、山下哲、スリカントチョドリ、田口徹、山中章弘

（名古屋大学 環境医学研究所）

神経細胞分化・成熟過程におけるオレキシン及びオキシトシンの発現変動解析

成田 年（星薬科大学 薬理学教室）

オレキシン2受容体作動薬の設計・合成

長瀬 博¹⁾、永原崇志²⁾、斉藤 毅¹⁾、杳村憲樹¹⁾、入鹿山容子¹⁾、

小川靖裕¹⁾、黒田大祐³⁾、合田浩明³⁾、藤井秀明²⁾、柳沢正史¹⁾

(¹⁾ 筑波大睡眠研究機構 (WPI-IIIIS)、²⁾ 北里大薬、³⁾ 昭和大薬)

休憩

17:00 ～ 17:15

特別講演 1

17:15 ～ 18:15

座長：南 雅文（北海道大学 大学院薬学研究院 薬理学研究室）

ホルマリン炎症遷延性疼痛モデルを用いた脳内慢性化過程の解析

加藤総夫（東京慈恵会医科大学 総合医科学研究センター 神経科学研究部、
東京慈恵会医科大学 先端医学推進機構・痛み脳科学センター）

8月20日（土）

シンポジウム 3 「オピオイド処方現状と展望」

9:00 ～ 10:30

座長：池田和隆（東京都医学総合研究所 依存性薬物プロジェクト）

井関雅子（順天堂大学 医学部 麻酔科学・ペインクリニック講座）

非がん疼痛に対する各種オピオイドの位置づけ

井関雅子（順天堂大学 医学部 麻酔科学・ペインクリニック講座）

本邦と欧米の現状からオピオイド鎮痛薬処方の適正化について考える

山口重樹¹⁾、Donald R. Taylor²⁾（¹⁾ 獨協医科大学 医学部 麻酔科学講座、

²⁾ Comprehensive Pain Care, P.C., US）

がん治療期を支えるオピオイド鎮痛薬の臨床研究

住谷昌彦¹⁾、城山亮輔²⁾（¹⁾ 東京大学 医学部附属病院 緩和ケア診療部/麻酔科・痛みセンター、

²⁾ 東京大学 医学部附属病院 薬剤部）

休憩

10:30 ～ 10:45

特別講演 2

10:45 ～ 11:45

座長：並木 昭義（小樽市病院局）

骨がん痛の研究からがんの痛みを考える

川股知之（和歌山県立医科大学 麻酔科学教室）

休憩 11:45 ～ 12:00

ランチョンセミナー 12:00 ～ 13:00

座長：花岡一雄（J R 東京総合病院）

慢性痛に対するオピオイド製剤使用の現状と問題点
小川節郎（日本大学総合科学研究所）

休憩 13:00 ～ 13:15

世話人会・INRC 報告 13:15 ～ 13:45

一般演題 13:45 ～ 15:45

座長：上園保仁（国立がん研究センター研究所 がん患者病態生理研究分野）
川股知之（和歌山県立医科大学 麻酔科学教室）

1. (13:45 ～ 13:53)
炎症性疼痛モデルラットにおける扁桃体-中脳水道周囲灰白質シナプス伝達
発表者：高橋由香里（東京慈恵会医科大学 総合医科学研究センター 神経科学研究部）
2. (13:53 ～ 14:01)
嗅球摘出ラットの情動過剰反応に及ぼす δ オピオイド受容体作動薬 KNT-127
連続投与の影響
発表者：斎藤顕宜（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究 精神薬理研究部）
3. (14:01 ～ 14:09)
島皮質の興奮性神経伝達に対する δ オピオイド受容体作動薬 KNT-127 の効果
発表者：岩井孝志（北里大学 薬学部 薬理学研究室）
4. (14:09 ～ 14:17)
 $\text{Ca}_v2.3(\text{R 型})$ 電位依存性 Ca^{2+} チャネル遺伝子多型と鎮痛薬感受性との関連
発表者：井手聡一郎（東京都医学総合研究所 依存性薬物プロジェクト）
5. (14:17 ～ 14:25)
タバコ・ニコチン依存に影響を及ぼすオピオイド受容体関連遺伝子
発表者：笠井慎也（東京都医学総合研究所 依存性薬物プロジェクト）
6. (14:25 ～ 14:33)
がん疼痛下のモルヒネ報酬効果減弱におけるミクログリアの関与
発表者：前田武彦（新潟薬科大学 薬学部 薬効薬理研究室）
7. (14:33 ～ 14:41)
メサドンの薬理作用発現機序の解析: NMDA 受容体非依存的
 μ -オピオイド受容体下流シグナル応答
発表者：森友久（星薬科大学 薬理学教室）

8. (14:41 ~ 14:49)
**G タンパク質依存的あるいは非依存的分類に基づいた
数種 μ -オピオイド受容体作動薬の分子薬理学的プロファイリング**
発表者：河田美穂（星薬科大学 薬理学教室）
9. (14:49 ~ 14:57)
**マウス慢性モルヒネ投与誘発痛覚過敏における末梢炎症性メディエーター
の役割**
発表者：雑賀史浩（和歌山県立医科大学 医学部 薬理学教室）
10. (14:57 ~ 15:05)
**Oxaliplatin によって誘発される末梢虚血状態への加温による
急激な血流増加に伴うしびれ様不快異常感覚**
発表者：安東嗣修（富山大学 大学院医学薬学研究部（薬学） 応用薬理学）
11. (15:05 ~ 15:13)
**神経障害性モデルマウスの血清中エクソソームは低濃度ホルマリン誘発
侵害刺激行動を増強する**
発表者：濱村賢吾（第一薬科大学 薬学部 薬品作用学分野）
12. (15:13 ~ 15:21)
**全脳虚血誘導性機械的アロディニアに対する脊髄
high mobility group box-1 の関与**
発表者：松浦 渉（神戸学院大学 大学院薬学研究科 臨床薬学研究室）
13. (15:21 ~ 15:29)
長鎖脂肪酸受容体 GPR40/FFAR1 の欠損は痛みの増強に関与する
発表者：中本賀寿夫（神戸学院大学 大学院薬学研究科 臨床薬学研究室）
14. (15:29 ~ 15:37)
**新規ビシクロ [2.2.2] オクテン骨格を有する κ 受容体選択的作動薬の
合成と薬理評価**
発表者：谷田誠浩（筑波大学大学院 数理物質科学研究科）
15. (15:37 ~ 15:45)
**ナルフラフィンの構造を基にしたオレキシン 1 受容体選択的拮抗薬の
設計・合成およびその薬理作用」**
発表者：山本直司（筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構（WPI-IIIIS））

休憩・ポスター掲示 15:45 ~ 16:00

ポスターセッション 16:00 ~ 18:00

閉会の辞 18:00 ~ 18:10

世話人代表：南 雅文（北海道大学 大学院薬学研究院 薬理学研究室）

謝辞

第36回鎮痛薬・オピオイドペプチドシンポジウムの運営にあたり、以下の企業より多大なご援助をいただきました。ここに深甚なる感謝の意を表します。

(平成28年8月吉日)

協賛

【セミナー共催】

塩野義製薬株式会社

【広告】

ファイザー株式会社

日本臓器製薬株式会社

大正富山医薬品株式会社

久光製薬株式会社

ヤンセンファーマ株式会社

大日本住友製薬株式会社

株式会社エイコム

バイオリサーチセンター株式会社

株式会社ムトウ

室町機械株式会社